

100%市民派・中川健作の

市議会かわらばん

2013年1月
(第87号)

(連絡先)
米子市政研究会
米子市内町 53
TEL(0859)33-6475
FAX(0859)23-0268

ご意見をお寄せ下さい

(ホームページ) <http://nakagawakensaku.sakura.ne.jp/> (メールアドレス) nakagawa@sanmedia.or.jp

昨年12月16日投票の総選挙で自民党が圧勝し、第二次安倍内閣が発足しました。国防軍、集団的自衛権、憲法9条改定などを唱える安倍首相が、日本を危険な方向に持っていくことを何としても防がなければなりません。

また、安倍内閣は、「2030年代に原発稼働ゼロを目指す」と決めた革新的エネルギー・環境戦略を見直すと表明しています。悲惨な福島原発事故を経験し、多くの国民が脱原発を支持しているにもかかわらず、原発をさらに続けようとするのは許されないことです。



新しい年を迎えて

原発のない、平和で安心して暮らせる社会を将来世代に引き継ぐために、選挙結果に萎えることなく、ますます闘志を燃やしてがんばりましょう。政治を変えるのは私たちひとりひとりの力だけです。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

「市議会かわらばん」は、中川健作(無所属市民派)の議会報告です。年4回、定例市議会(3、6、9、12月)終了後に発行しています。

毎号ご希望の方には無料で郵送していただきますので、ご連絡下さい。また、内容についてのご意見、市政への提言等お寄せ下さい。出前市政報告会も行っています。少人数でもお申し込み下さい。

島根原発3号機訴訟の原告募集中!

国は、島根原発3号機は「新設ではない」として稼働させることを明言しています。1、2号機は、現在、広島高裁松江支部にて運転差し止め訴訟が続いていますが、3号機に関しては訴訟はなされていません。このまま進んでいけば3号機は稼働してしまいます。たとえ、40年運転が目の前に迫る1号機が廃炉になったとしても、3号機が稼働すれば、あと40年間も私たちの目の前で動き続けることになります。このような危険なものを、これ以上、未来に残していくことはできません。

そこで、3号機の運転を止めるための裁判を開始することにしました。参加費1万円、年会費3千円でどなたでも原告になれます。多くの弁護士が協力して下さいます。ぜひ原告になってください。

申し込み・問い合わせは中川健作まで(090-1359-3049)。

毎週金曜日は脱原発デモ

東京の官邸包囲デモに呼応して全国100ヶ所以上でデモが行われています。米子でも7月から続けられており、毎週金曜日午後6時から、文化ホール前から中国電力米子営業所前まで歩きます。思い思いのプラカード、鳴り物、かぶり物などで毎回楽しくやっています。お試し参加、途中参加も大歓迎です。



12月議会 各個質問



島根原発住民避難計画・防災計画

避難区域30kmは不十分

(問) 福島では飯館村が約50km圏まで避難地区に指定されている。避難区域が30km圏では不十分。滋賀県は独自シミュレーションを行い、U P Z (国が原発事故に備えて避難体制の整備、安定ヨウ素剤の配布などの防護対策を義務づける) 緊急時防護措置区域の略称) を42kmまで拡大した。

(答弁) 10月31日に原子力規制委員会が決定した原子力災害対策指針で、正式にU P Z が概ね30kmに定められたことを踏まえ、避難区域は同心円で30kmに含まれる自治会単位のラインにした。

とんでもない避難基準

(問) 国は、7日間で100ミリシーベルトのとんでもない高線量で住民が避難する

という案を示している。その根拠は、IAEA (国際原子力機関) が避難や屋内退避を始めるレベルとしている1千マイクログラム/時

という値。平常時の約2万倍であり、1時間で平常時の一般人の年間被曝限度量に達する。このように高い値が計測されてから避難が開始されるのであれば、高い被曝は避けられない。

(答弁) 今後、原子力規制委員会の検討で避難の線量基準、IAEAの提案などが妥当なものかどうか明らかにすると思うので、検討状況を注意したい。

30km以遠の放射線量予測は?

(問) 今でも、80km離れた福島市や郡山市などでは5ミリシーベルト/年の放射線管理区域以上の汚染場所が

多くあり、子どもも含めて住まわされている。内部被曝も深刻であり、将来どのような健康被害が出るか心配されている。30km以遠の被曝量予測を住民に情報公開した上で防災計画、避難計画を作ることが必要。30km以遠の放射能拡散予測はしないのか。

(答弁) 現時点ではU P Z ライン内米子市民3万8千人の避難計画を策定する予定にしている。万が一U P Z 圏外の避難の必要が及んだ時には、U P Z 圏内の避難計画を実施に合わせて運用したい。30km以遠の拡散予測はするとかしないとかでなく、国の拡散予測結果でしか推し量れないと思っている。県と連携し、国が行うシミュレーション結果に基づいて対策を行っていく。

(問) 民間シンクタンク「環境総合研究所」が30km以遠も含めた拡散予測システムを開発。北海道ニセコ町はこのシステムに基づいて防災計画を策定すること。鳥取県とも協議し、検討を。

(答弁) 拡散予測シミュレーションは色々有り、どれがい

いのかわからない。今の計画は島根県等とも連携しているもので、米子市だけがやることは不可能。県からそういう声が出れば、米子市としてもそれに対応してやっていく。

長期避難計画が必要

(問) 福島では1年9ヶ月経つ今なお、原発事故からの避難者は県内外で16万人と言われている。福島の実態に踏まえれば、長期避難に伴う住宅対策、生活支援なども避難計画になければならぬ。

(答弁) 福島の実態を踏まえれば、長期的な生活支援計画も必要であると考える。しかし、原子力災害対策指針では、不断の見直しを行い継続的な改訂をすべきものであるとされている

ので、現時点ではU P Z 内の住民をいかに効率よく避難させるかに力を注ぎ、その基本となる

避難計画が出来上がった後に見直す。

完全な避難計画なしに再稼働はあり得ない

(問) ニューヨーク州のシヨラム原発は、避難計画を州知事が承認しなかったため、運転開始できずに89年に廃炉となった。日本でも住民の全員避難が保障できない原発は廃炉にすべき。防災計画、避難計画はそれくらい重要な意味を持つものであると考える。

(答弁) 再稼働は規制庁の動向を注視したい。避難計画は県、境港市とU P Z 内の避難計画を作り、策定後は実効性を向上すべく不断の見直しを行っていく。

議員報酬会計報告 (2012年10~12月)

(収 入)	
前月からの繰越	112,460
報酬 (44万円×3ヶ月)	1,320,000
期末手当	924,000
所得税還付	110,308
合 計	2,466,768
(支 出)	
所得税	187,200
国保料	166,500
かわらばん送料	93,830
かわらばん紙、インク等	74,373
資料代	6,600
活動費(事務所維持費等)	197,448
中川生活費(25万×3ヶ月+一時金50万円)	1,250,000
次月繰越金	490,817
合 計	2,466,768

化学物質過敏症対策の取り組みを求める

10月12日、重度の化学物質過敏症患者さんを取り上げたドキュメント映画「いのちの林檎」上映会を行い、6百名近くの方が鑑賞されました。上映実行委員会には重度の患者さんも参加され、周りが病気にに対する理解を深め、環境を少しでも改善し、生活できない患者さんたちの苦悩を何とかしなければと痛感しました。そこで、行政としての取り組みを求めて質問しました。

(問) 病気にに対する認識は?

(市長) 一度に多量の化学物質を浴びたり、少量でも長期にわたって浴び続けることで拒否反応として一気に発症。一度過敏状態になると、その後はごく微量の化学物質にも強い拒否反応を繰り返し、重症になると日用品のほとんどが使えず、家族にも近づけなくなり、電磁波にも反応するようになると家電製品も使えなくなる等の大変厳しい症状。また、頭痛・めまい・吐き気等々症状の現れ方が客観的状況に乏しく周りに人に理解されにくい面があることで患者の精神的負担がさらに大きくなる。

(問) 米子市における患者の実態把握は?

(部長) 鳥取県が化学物質過敏症として相談を受けた3

からの相談をきっかけに、平成22年度にポスターとチラシを作成し、県立公共施設での掲示とホームページへの掲載を実施している。本市も必要な広報に取り組みたい。
(教育長) 1月18日に養護教員の研修を行うので、そこで早速に取り上げたい。

(問) 中学校給食食器選定の検討状況は?

(教育長) 学校給食運営委員会で検討してもらい、PEN(ポリエチレンナフタレート)食器が適当との意見をもらった。この意見も参考に教育委員会決定する。

(要望) 徳島市は、アルマイ

ト食器からの切り替えにあたって、PEN樹脂製も検討していたが、安全性などの面から強化磁器を選択。「当時、合成樹脂の環境ホルモン問題があった。同じ合成樹脂なので、いざれ出ないとは言えない」ということで、安全性を考えて強化磁器を選択した」とのこと。食品安全委員会の資料によると、PEN食器からは微量であつても化学物質が溶出する。化学物質は可能な限り避けるといふ観点で、強化磁器食器を採用して

いただきたい。

食品の放射能検査(無料)開始

広島県三次市で生産された生シイタケや島根県産の牛肉からセシウムが検出されるなど、福島原発事故に伴う食品の放射能汚染は全国に広がっています。米子市では、消費者庁より機器の貸与を受けて食品の放射性物質の検査を開始しました。

私は、検査開始初日の12月3日に、宮城県女川町から送ってもらったサンマを検査してもらいました。結果は、セシウム134不検出(検出限界値8.23ベクレル/kg)、セシウム137不検出(検出限界値9.55ベクレル/kg)でした。また、念の為に南部町で収穫された玄米も年末に測定してもらいました。これも、セシウム134不検出(検出限界値9.89ベクレル/kg)、セシウム137不検出(検出限界値8.51ベクレル/kg)でした。

チェルノブイリ原発事故の影響で、北欧から輸入されるワインなどから今でも時々セシウムが検出されています。セシウム137の半減期は30年なので、福島原発事故による食品の放射能汚染は今後長期に及びます。できるだけ放射能を避けるために、米子市の無料検査をご利用ください。
(対象者) 米子市民
(対象品目) 自家消費食品。検査に必要な量は1リットルの専用容器に細かくして詰め込む量。約1kg
(検査費用) 無料

(予約方法) 米子市環境政策課(旧庁舎1階)の窓口を検査依頼書を提出。一人につき、1回1検体。時間は午前8時30分から午後5時15分まで。
電話 23・5257

(試料持込場所) 米子市内浜下水処理場1階・環境検査室(米子市安倍300番地)
(結果の通知) 依頼者に書面で。



危険家屋対策、やっと進展

米子市内には今にも崩れそうな危険家屋が多くあり、市民の安全面、衛生面、さらには景観などに悪影響を及ぼしています。私もこれまで議会で何度か取り上げ、条例を制定して対策をとることを求めてきましたが、やっと12月議会に「空家等の適正管理に関する条例」が提出され、議決・成立しました。

条例骨子は、「所有者は、空き家等が危険な状態にならないよう適正に管理しなければならない」、「市は適正な管理が行われていない空き家等

の調査を行うことができる」、「市は危険な状態の改善について指導、勧告、命令をすることがができる」、「命令に係る措置をとらないときは、市が必要な措置をし、その費用を徴収することができる」というものです。

これまでは市に権限がなかったので指導するだけでしたが、今後は強制執行ができるので、危険家屋がいつまでも放置されるという状態は改善されるものと期待しています。

陳情第70号・71号 採択を求める討論(要旨)

福島では、今なお多くの方が放射能から避難して仮設住宅などで寒い2度目の冬を迎えている。また、避難をすることもできずに、内部被曝の恐怖の中で生活を余儀なくされている方も、それ以上に

原発・エネルギー問題特別

委員会の審査で、原発を止めれば経済に悪影響が出る、企業の国外流出が進む、などの意見があつたが、いのちや安全な暮らしよりお金の方が大事なのか。また、自然再生エネルギーは不透明であり現実的でない、などの意見もあつたが、ドイツでは実践してい

る。ドイツにできて何故日本にできないのか。ドイツでは、2022年までに原発をゼロにする方針を確定。再生可能エネルギーの導入目標を2050年に80%に設定し、推進している。要は、政策選択の問題である。

この夏、大飯原発がなくなっても大丈夫であつたことが明らかになつた。省エネと節電を進め、再生可能エネルギーを推進していけば、原発を再稼働しなくてもいいというシナリオは民間研究機関などが発表している。福島原発事故を起こしてしまつた日本として、国を挙げて脱原発を実現するためにあらゆる政策を動員すべきである。

使用済み燃料の処理も全く展望がない。六ヶ所村再処理工場の貯蔵プールは90%以上が使用済み燃料で埋まり、各原発も70%近く埋まつている。原発の即時停止は無責任だというのが、廃棄物を処理できないまま運転を続けることの方が全く無責任だ。

陳情2件は採択が当然であり、全議員が賢明な判断をされることを求める。

賛否が分かれた主な議案・陳情に対する全議員の賛否一覧(12月議会)

- ①陳情第68号・年金2.5%削減中止を求める意見書の陳情 (4:23で不採択)
- ②陳情第70号・原子力から再生可能な自然エネルギーへのエネルギー源の転換を求める陳情書 (13:14で不採択)
- ③陳情第71号・島根原発1号機・2号機の再稼働反対と3号機の建設凍結を求める陳情書 (11:16で不採択)

会派	氏名	①	②	③	会派	氏名	①	②	③	会派	氏名	①	②	③
蒼生会	岩崎 康朗	×	×	×	公明党	安田 篤	×	×	×	一院クラブ	遠藤 通	×	×	×
〃	尾沢 三夫	×	×	×	よなご会議	国頭 靖	×	○	○	市民派	中川 健作	○	○	○
〃	野坂 道明	×	×	×	〃	小林 重喜	×	○	○	信	藤尾 信之	×	○	×
〃	松田 正	×	×	×	〃	矢倉 強	×	○	○	仁	中田 利幸	×	×	×
〃	湯浅 敏雄	×	×	×	〃	伊藤ひろえ	×	○	○	ムスカリ	門脇 邦子	×	○	○
〃	渡辺 穰爾	×	×	×	〃	稲田 清	×	○	○	コモンズ	杉谷第士郎	×	×	×
〃	渡辺 照夫	×	×	×	〃	西川 章三	×	○	○	虹	山川 智帆	×	○	×
公明党	笠谷 悦子	×	×	×	共産党	岡村 英治	○	○	○	新政会	松井 義夫			議長
〃	原 紀子	×	×	×	〃	松本 松子	○	○	○					
〃	安木 達哉	×	×	×	〃	石橋 佳枝	○	○	○					

※「市議会かわらばん」は環境を考え、古紙再生紙、大豆油インキを使用しています。